



「尚絅学園創立130周年記念募金」～教育・研究の施設、設備充実のための募金～の報告とお願い

寄附者芳名録						令和3年11月1日～令和4年4月30日現在	
ご寄附をいただきました方々のご協力に感謝し、ご芳名を掲載させていただきます。							
寄 附 金 内 訳							
個人・法人等 3件 / ￥5,400,000			現旧 役員・教職員 3件 / ￥600,000			合計 6件 / ￥6,000,000	
卒業生・現旧役員教職員・個人・法人 (順不同)							
森下 ひろ子様		尚絅学園後援会様		光多制服様		山縣 ゆり子様	
				坂田 敦子様		林田 俊一郎様	

■申込及び振込方法等は尚絅学園のホームページをご覧ください。

[お問い合わせ先]学校法人 尚絅学園 学園事務局総務部経理課 寄附金担当 [TEL]096-364-0116 [FAX]096-363-6520 [E-mail]keiri@shokei-gakuen.ac.jp

「尚絅学園古本募金」

「尚絅学園古本募金」は、取引集荷・査定換金・募金送金の運営を「古本基金さしやぼん」(運営:嵯峨野株式会社)に委託して実施しています。皆様からのご支援をお待ちしております。

尚絅学園古本募金状況について		
令和3年11月1日～令和4年4月30日現在		
ご寄附をいただきました方々のご協力に感謝し、寄附金状況をご報告させていただきます。		
寄 附 金 内 訳		
個人・法人等 2件 / ¥1,232	現旧 役員・教職員 0件	合計 2件 / ¥1,232

〈WEBで申込む〉 **尚絅学園 古本募金**

〈電話で申込む〉 ☎ **0120-29-7000**

Kishapon.com/shokei-gakuen/ (受付)24時間・365日 オペレーターに団体ID **172** とお伝えください。(受付)9時～18時・365日

【お申込みと集荷について】 電話またはWEBからお申し込みいただくだけで、ご指定の時間にご自宅まで宅配業者が受け取りに伺います。5冊(5点)以上であれば送料無料です。

熊本県SDGs登録事業者に登録されました

学校法人尚絅学園は「熊本県SDGs登録制度」において熊本県SDGs登録事業者(第2期)として登録されました。熊本県SDGs登録制度は、熊本県内の企業等が、自らの活動とSDGsとの関連性を認識し、SDGsの達成に向けた具体的な取組みを推進することにより、SDGsの普及を促進することを目的として創設された制度です。本学園は、持続可能な社会を実現する為にSDGsの取り組みを進めていきます。

©2010熊本県くまモン



新任教職員紹介		
(令和4年4月1日～7月1日着任)		
■尚絅大学現代文化学部／文化コミュニケーション学科 塩谷 さやか(教授) 小野澤 泰子(准教授)	■尚絅中学・高等学校 那加野 道聡(教諭) 瀧川 優(教諭) 中本 陽香(教諭) 松尾 英範(教諭) 澤井 隆(講師) 紫藤 史亨(講師) 長南 駿(講師) 松木 茜(講師) 森 陽子(講師) ニッター・ジャクリン・サクラ(ALT)	■尚絅大学・尚絅大学短期大学部／ 九品寺キャンパス 植村 広亮(庶務会計課係長) 松下 尚史(入試課係長) 岩本 武大(職員) 神本 正輝(職員) 齊藤 麻理恵(職員) 高林 侑希(職員) 田口 裕理(職員) 中川 裕介(職員) 藤田 紗香(職員) 山下 香菜(職員)
■尚絅大学生生活科学部／栄養科学科 平野 修(教授) 寺本 ミユキ(准教授) 前測 元宏(准教授) 古澤 愛佳(助手) 松田 裕香(助手) 宮田 有里恵(助手)	■尚絅大学短期大学部附属こども園 和泉 久仁子(保育教諭) 井上 あみ(保育教諭) 尾方 来夢(保育教諭) 米田 恵吏佳(保育教諭) 野口 璃音(保育教諭) 東 玲卯(保育教諭) 村上 里菜(保育教諭) 上崎 美友(養護教諭) 泉田 誠吾(運転手)	■尚絅大学・尚絅大学短期大学部／ 武蔵ヶ丘キャンパス 梶原 克彦(事務部長) 西山 弘樹(教務課長) 内野 菜摘(職員) 緒方 将人(職員) 門崎 香琳(職員) 平木 麻里(養護教諭)
■尚絅大学短期大学部／総合生活学科 竹下 正高(准教授) 吉村 千恵(講師)	■尚絅大学短期大学部／幼児教育学科 浜崎 隆司(教授) 矢野 潔子(教授) 岩永 留美(講師) 草野 舞(講師) 佐竹 貴明(助教)	■学園事務局 清田 順次(経理課長)

※順不同・敬称略



学校法人尚絅学園 令和3年度決算の概要

1. 決算の概要

学校法人尚絅学園の令和3年度決算は、令和4年5月30日開催の理事会において承認・議決され、同日開催の評議員会に報告されました。また、監事及び監査法人の承認を得ております。以下、その内容についてご説明いたします。

(1)資金収支計算書 資金収支計算書は、当該年度の研究活動に対応するすべての資金の収入及び支出の内容を明らかにして、支払資金の収入及び支出の顚末を明らかにしています。

資金収支計算書要約 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:百万円)

資金収入の部	令和3年度	前年度	増 減	資金支出の部	令和3年度	前年度	増 減
学生生徒等納付金収入	1,443	1,389	54	人件費支出	1,568	1,482	86
手数料収入	20	22	△ 2	教育研究経費支出	427	441	△ 14
寄付金収入	11	4	7	管理経費支出	143	147	△ 4
補助金収入	829	760	69	借入金等利息支出	4	2	2
資産運用収入	0	1	△ 1	借入金等返済支出	0	0	0
資産売却収入	0	0	0	施設関係支出	3	991	△ 988
事業収入	3	3	0	設備関係支出	50	152	△ 102
雑収入	104	47	57	資産運用支出	110	101	9
借入金等収入	0	600	△ 600	その他の支出	76	89	△ 13
前受金収入	450	502	△ 52	資金支出調整勘定	△ 40	△ 52	12
その他の収入	306	263	43	支出の部小計	2,341	3,353	△ 1,012
資金収入調整勘定	△ 619	△ 523	△ 96				
前年度繰越支払資金	581	866	△ 285	次年度繰越支払資金	787	581	206
収入の部合計	3,128	3,934	△ 806	支出の部合計	3,128	3,934	△ 806

資金収支計算書の収入の部において、学生生徒等納付金収入は1,443百万円となり、前年度比54百万円増加しました。また、補助金収入として829百万円を計上し、前年度比69百万円増加しました。

支出の部では、人件費支出は1,568百万円であり、前年度比86百万円増加しました。教育研究経費支出は427百万円で前年度比14百万円減少、管理経費支出は143百万円で前年度比4百万円減少しました。

補助金収入における増加要因は、経常費補助金及び高等教育修学支援に係るもので、これに伴い教育研究経費の奨学費支出も増加しております。また、施設関係支出は3百万円となり、前年度比988百万円減少しました。これは、前年度に九品寺キャンパス大学7号館建設費計上によるものです。以上の結果により、次年度繰越金は787百万円となり前年度比206百万円増加いたしました。

(2)事業活動収支計算書 事業活動収支計算書は、当該年度の実業活動収入と事業活動支出の内容、収支状況を明らかにして、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示しています。

事業活動収支計算書要約 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:百万円)

事業活動収入の部	令和3年度	前年度	増 減	事業活動支出の部	令和3年度	前年度	増 減
(教育活動収入計)	(2,397)	(2,228)	(169)	(教育活動支出計)	(2,595)	(2,477)	(118)
学生生徒等納付金	1,443	1,389	54	人件費	1,560	1,473	87
手数料	20	22	△ 2	教育研究経費	826	818	8
寄附金	2	3	△ 1	[内奨学費]	(183)	(179)	(4)
経常費等補助金	826	758	68	[内減価償却額]	(399)	(377)	(22)
付随事業収入	3	3	0	管理経費	208	186	22
雑収入	104	52	52	[内減価償却額]	(54)	(28)	(26)
(教育活動外収入計)	(0)	(1)	(△ 1)	(教育活動外支出計)	(4)	(2)	(2)
受取利息・配当金	0	1	△ 1	借入金等利息	4	2	2
(特別収入計)	(16)	(8)	(8)	(特別支出計)	(27)	(0)	(27)
現物寄付等	16	8	8	資産処分差額	27	0	27
事業活動収入計	2,413	2,236	177	事業活動支出計	2,625	2,478	147
				基本金組入前当年度収支差額	△ 212	△ 242	30
				基本金組入額	0	△ 532	532
				当年度収支差額	△ 212	△ 774	562
				基本金取崩額	147	0	147

事業活動収支計算書の収入の部、支出の部については、資金収支計算書の収入の部、支出の部と同様の項目が多く含まれています。令和3年度の事業活動収支計算書における特徴的なものは、学生生徒納付金及び経常費等補助金の増加を主要因とした事業活動収入が前年度比177百万円増加したことに対し、人件費及び大学7号館建設等に係る教育研究経費・管理経費の減価償却額の増加を主要因とした事業活動支出が前年比147百万円の増加となりました。

その結果、教育活動収支差額は△197百万円となり、前年度比52百万円改善しました。同様に基本金組入前当年度収支差額は△212百万円となり、前年度比30百万円改善しました。